

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	湘南北部療育センター			
○保護者評価実施期間	2025年 1月 25日 ～ 2025年 2月 22日			
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	94	(回答者数)	25
○従業者評価実施期間	2025年 2月 17日 ～ 2025年 2月 28日			
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	10	(回答者数)	7
○事業者向け自己評価表作成日	2025年 3月 8日			

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	・利用児童の特性に応じた支援の提供	利用児童の発達状況や興味関心、得意なことなどをアセスメントし、ご家族からご家庭での様子や工夫されていることなどをうかがい、提供した活動内容での様子を踏まえて、支援方法の再検討をおこなっていき、より本人にあった支援を日々検討しております。	より良い支援の工夫ができるように、職員が研修へ参加し、子どもたちに関わる職員の支援力を高めて参ります。
2	・他事業所や相談支援事業所との連携	事業所間連携や相談支援専門員の開催する担当者会議、相談支援専門員によるモニタリング時等で、利用児童の他の場面での様子などを共有しております。利用時の姿と共通することや異なることなどを把握することで、利用児童について理解を深めていきます。	他の放デイ事業所や相談支援専門員のみならず、学校の担任など関係機関との連携も支援を行なっていく際には重要となるため、様々な機関との情報共有や支援方法の検討を行っていきたいと思います。
3	・ご利用ご家族との相談機会の確保	利用児童の送りやお迎えなどの限られた時間の中で、最近のご様子などを共有させていただいております。そうしたお話の中で、個別に時間を設けてほしいとお話があった際には、日程調整を行い、個別に1時間程の相談機会を適宜設けております。	ご家族の方がより気軽にお声がけしやすいよう、ご利用時のお子さんの様子のご報告のみならず、普段のご様子やお子さんの成長や頑張りに関するお話などもうかがえるよう努めて参ります。

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	建物の構造等 ・2階へ上がるのが大変 ・古い建物のため階段が高い ・お部屋が3階にあるため、階段を上るが急に感じる ・階段が急で上りづらそうな児童もいる	子どもの利用を想定した作りとなっていない建物のため、階段の1段当たりの高さや段数などが小学校低学年の子どもたちにとって負担になっていると思われます。	階段につきましては、子どもの手の届く高さに別で手すりの設置をしております。また、昇降時には職員も一緒に同伴して安全に配慮しております。
2	地域交流がない ・地域との交流についての情報がないのでわからない	地域のスーパーやコンビニに買い物に行く機会などが提供できる場合もありますが、児童館や放課後クラブなどの地域の子どもたちと関わる機会は設けられておりません。	地域の子どもたちとの交流につきましては、ご家族のご意見等もうかがいながら、近くの公園など地域の子どもたちと触れ合える場の活用も検討して参ります。
3	情報発信の弱さ ・月一回の利用のためわからない	月に1度の頻度でお便りや予定表を発行していますが、紙での配布となっているため、HPの定期的な更新やSNSでの情報発信ができていない。	HPやSNSを活用した情報発信については、情報倫理などの観点も考慮し、適切かつ正確な情報発信が行えるように検討していきたいと思います。